



2023年9月14日

各位

会社名 株式会社ジェイック

代表者名 代表取締役

佐藤 剛志

(コード番号:7073 東証グロース)

問合せ先 取締役経営企画本部長

谷中 拓生

(TEL. 03-5282-7608)

## 連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年9月14日開催の取締役会において、以下のとおり、2023年3月15日に公表した2024年1月期の業績予想及び配当予想について、修正することいたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## I. 連結業績予想の修正について

## 1. 当期の連結業績予想数値の修正(2023年2月1日～2024年1月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり連結 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,875	百万円 296	百万円 306	百万円 174	円銭 190.79
今回修正予想(B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(参考)前期連結実績 (2023年1月期)	3,206	214	224	140	155.07

## 2. 修正の理由

本日公表の「2024年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載のとおり、売上高は1,822百万円となり、前年同期比19.1%増となったものの通期の業績予想に対する進捗率は47.0%に留まり、計画していた売上高を下回る厳しい結果となりました。

主力事業であるカレッジ事業においては、採用市場の売手市場化が進む中で求職者の獲得における競合企業との競争が激化を折り込み、前及び前々連結会計年度は前年比約20%のペースで伸びていた求職者の獲得数の伸び率を約5%にまで抑えて保守的に計画しておりましたが、実績は前年同期比83.0%となり計画値から大きく崩れたことにより、紹介手数料の値上げや早期退職等による返金を減少させたことよってカレッジ事業の売上高は823百万円となり、前年同期比で横ばいとなったものの通期の業績予想に対する進捗率は48.1%に留まる結果となりました。

新卒事業においては、2022年9月27日付で株式取得し連結子会社となった株式会社キャンパスサポートの売上高を取り込んだことが大きく寄与し、新卒事業の売上高は前年同期比101.0%増の618百万円となりました。一方で、新卒事業におけるメインサービス「新卒カレッジ®」は、上半期の学生の個人情報取得数を前年同期比25.6%増で計画しておりましたが、売手市場の影響を受けて6.8%増に留まったことで売上高も計画値を下回る水準で推移し、新卒事業

における通期の業績予想に対する進捗率は43.7%となりました。新卒事業は下半期偏重の計画を組んでおりますので、通期の業績予想に対する進捗率は他事業よりも低くなりますが、上半期計画に対する進捗率も93.7%に留まりました。

教育研修事業その他においては、売上高は381百万円となり、前年同期比は横ばいではありますが、通期の業績予想に対する進捗率は51.2%とほぼ計画通りの進捗となっております。

売上原価は153百万円、売上総利益は1,669百万円となり、売上高総利益率は91.6%となりました。外注費やロイヤリティを計画より抑えたことで、通期の業績予想における売上高総利益率である90.1%を上回る水準となりました。

販売費及び一般管理費は1,646百万円となり、前年同期比26.7%増となりました。それぞれ2022年8月1日付、2022年9月27日付で株式取得し連結子会社となった株式会社Kakedas、株式会社キャンパスサポート及び株式会社アワードの販売費及び一般管理費を取り込んだことに加えて、売手市場化が進む中での求職者の集客コストの増加、事業拡大に向けた人員増とベースアップによる人件費の増加等を見込んでおりましたので、通期の業績予想に対する進捗率は51.5%とほぼ計画通りの進捗ですが、売上高が想定を下回る水準となったことで、販売費及び一般管理費の増加を吸収することができず、営業利益は22百万円(前年同期比86.0%減)、経常利益は21百万円(前年同期比86.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1百万円(前年同期比98.9%減)と大幅な減益となりました。

このような状況を受け、カレッジ事業においては売手市場化が進む中で求職者に選ばれて行けるようなサービスラインナップの拡充、新卒事業においては連結子会社の株式会社キャンパスサポートを通じて大学生協事業連合と協力しての大学4年生の就職支援、費用面においては求職者の集客コストのコントロール強化、販売費及び一般管理費の見直しによる固定費削減等、各種施策を推し進めておりますが、当第2四半期連結累計期間の経営成績の状況を鑑みると、通期の連結業績予想の未達を想定しております。

また、先述した大学生協事業連合と協力しての大学4年生の就職支援等、当初の業績予想策定時に見込んでいなかった取り組みで生じる売上高等については、新たな取り組みでもあるため、現時点で業績影響をどの程度通期業績予想に反映することができるのかについて、一定の蓋然性を担保した合理的な算定に基づく予測及び予想に時間を要する状況となっております。

以上のことから、2023年3月15日に公表いたしました2024年1月期の通期連結業績予想を一旦取り下げさせていただきます。

今後、先述した大学生協事業連合と協力しての大学4年生の就職支援において実際のマッチングイベントを複数回開催することで、収益の合理的な算定が可能となると想定される第3四半期会計期間末(2023年10月末)を目途に、改めて公表いたします。

## II. 配当予想の修正について

### 1. 配当予想修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭
前回予想	0.00	57.00	57.00
今回予想		未定	未定
今期実績	0.00		
前期実績 (2023年1月期)	0.00	47.00	47.00

### 2. 修正の内容

当社は、成長投資による業績拡大を目指すとともに、株主の皆様への利益還元の充実を経営の重要課題のひとつとして位置づけており、株主の皆様に対する配当につきましては、安定的な配当を重視しつつ、親会社株主に帰属する当期純利益を基準とした年間配当性向25～35%程度とすることを基本方針としております。

しかしながら、「I. 連結業績予想の修正について」に記載のとおり、2024年1月期の連結業績予想を取り下げ、未定とすることから、2024年1月期の期末配当予想につきましても、一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算出が可能となった時点で改めて開示いたします。

以上